

いよいよ講習会です。講義及び考査には、食事休憩等を含めると約7時間ぐらいかかります。法令や銃の取扱い等の講義が休憩を挟んで約4時間続き、最後に考査があります。前にも述べましたが、合否の審査は考査の点数だけでなく、受講態度なども含まれると思われまので、居眠りなどせずに講義を聞くように心がけましょう。講義の中で「ここが大事です」と講師の方が指摘した箇所はしっかり覚えましょう。



そして最後の考査です。半分程度は常識問題です。特に注意をしなければいけないことは、文章の語尾を書き換えたような問題などもありますので、最後までじっくり読むことが大切です。

「よく出来たのに不合格だった」との話も聞こえてきます。しかし公安委員会では考査の点数の発表はせず、問題用紙も回収されますから内容は不明です。ただ言えることは、これは考査であり試験では無いということです。あくまで所持許可を与えてよいかどうかの判断基準の一つであるということです。もし考査の採点に自信があっても不合格になった場合、再度挑戦してみてください。その後合格された方も少なくないはずですよ。